

学 校 別 力 目 ・ 標 教 師 力 を 向 上 さ せ ま す	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	12月の学校評価保護者アンケート 「(教員は)いきいきと働いている。」の肯定的回答の割合	4 : 9 5 % 以 上	①各教科でグループ学習を取り入れており、協働的な学びを充実させることはできている。 ②個別最適な学びについては、授業改善が必要である。 【改善】個別最適な学びとは、どのようなものか、何をどのように改善しなければならないのか、などについて教員の勉強会を開く。 ③洗足池や呑川等の自然を学ぶ学習、東京科学大学留学生との交流など、地域の特色を生かしている。 ④教員の専門性を生かしているとは言い切れない。 【改善】専門性の高い教員による、教員向け研修を実施する。 ⑤定時退庁日の設定、休憩時間の確保に取り組み、一定の成果を挙げた。 ⑥会議が多く、教材研究の時間が足りないという声はまだ多く聞かれた。 【改善】組織を見直し、スリム化を図る。このことにより、必要な会議が減る見込みである。	A	6	【A評価の方から】 ・教員一人ひとりが授業改善に努めており、児童それぞれにとって個別最適な学びにつなげていることがうかがえる。 ・保護者の評価が4に対し、学校の評価が3と2にとどまっているあたりに現実の厳しさを感じる。先生方の児童と向き合う時間の確保には、保護者として意識の向上が必要ではないかと感じる。保護者と先生方とのお互いを理解し合う機会の減少、そこを円滑にする難しさは、先生・保護者ともに忙しい現代では難しい問題であると感じた。 ・先生方の研修が充実していると感じ、よりよい授業で子どもたちの学習意欲や保護者の学校教育への関心が高まっていると感じた。また、今年度からの新しい教育目標が、学習の方向性が分かりやすく示されていると思った。 ・本は常に在庫を見直し、時代に合った新しい書籍を補充し続けている。また、スクールサポートのボランティアによる読み聞かせも、東京都内の多くの本屋さんを巡って吟味し、探し出してきた名作を提供している。 ・夏休みに算数キャンプを行い、理系学習の理解を深めるようにしている。 ・若年層の先生が多いが、昔遊びが得意で訓練されている方が多いと感じる。 ・それぞれの教師が自分の持ち味を生かした授業を行っており、児童とのコミュニケーションが円滑であるように感じた。
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3		3 : 8 5 % 以 上		B	1	【B評価の方から】 ・学校の自己評価が厳しい。もっと高い評価でよいと感じる。
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。	2		2 : 7 5 % 以 上		C	0	
						1 : 7 5 % 未 満		D	0	
た 自 個 め 分 別 の 目 標 び く 5 を い 支 援 い き と 生 き る	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	12月の学校評価保護者アンケート 「(学校は)いじめの未然防止、早期発見、早期対応に全力であたるため、いじめ防止基本方針を策定し(学校HPに掲載)、いじめに対して組織的に対応する体制を整えている。」	4 : 9 5 % 以 上	①定期的には特別支援校内委員会の実施により、支援を必要とする児童についての支援策の協議を行うことができた。巡回指導教員との連携も円滑に行うことができた。 ②いじめの早期発見に努め、いじめが発見されたときは、学校いじめ防止基本方針にのっとった組織的な対応ができている。 ③学校いじめ防止基本方針の存在や、いじめが発見されたときの学校の対応方法について、保護者に十分理解されていない。 【改善】学校いじめ防止基本方針がホームページに掲載されていること、またその内容について、保護者会や学校だより等での周知を徹底する。 ④5年生を対象にしたスクールカウンセラーによる全員面談を実施し、一人一人に寄り添った支援を行うことができた。また、スクールカウンセラーによる、教員向けの研修も実施し、特性のある児童への理解やその対応について学ぶことができた。	A	6	【A評価の方から】 ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとも連携し、学校全体としていじめや児童の悩み等対応していることが感じられる。 ・一人一人の状況に合わせた配慮が行われている。配慮が必要な児童が洗足池小を希望する理由が分かった。 ・子どもの個性に合わせた対応ができる先生が多い印象である。問題が起きたときに決めつけないように、とてもよく子どもたちの話を聞いていると思う。 ・いじめの問題や不登校など、悩みを抱えた子どもには多くの大人の目で見えて寄り添うことは大きなことだった。早期発見・対応にとめられていることは保護者にとっても学校が安心できる環境にあると思う。 ・特別支援学級では学芸会で太鼓、ハンドベルなど一人一人が遣うパートのものもしっかり演奏していた。スライドや絵の制作も素晴らしい。 ・学芸会では違う学年同士でクイズをしたり紹介をしたりなど、交流を深める工夫が見られた。学芸会では人を思いやり、社会の平和について考える演目が多く、歌もダンスも舞台芸術も衣装も完璧だった。
		②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満の教員が回答した。 2:60%以上80%未満の教員が回答した。 1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。	4		3 : 8 5 % 以 上		B	1	【B評価の方から】 ・現状での支援体制は整っていると思うが、SNSや生成AI等、予測不可能な未来に対して、教職員の不足や過重労働などの問題はあ
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4		2 : 7 5 % 以 上		C	0	
						1 : 7 5 % 未 満		D	0	
安 個 心 軟 別 な で 目 教 創 標 育 造 6 環 的 な を 学 習 く 空 間 と 安 全 ・	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	12月の学校評価保護者アンケート 「2-5(学校は)危険防止の方法を身に付けている。」	4 : 9 5 % 以 上	①3年生の地域安全マップ作りを通して、地域の特色を知り、安全安心に生活しようとする意識を育てることができた。4年生は、本校卒業生の仏師の方をゲストティーチャーとしてお招きするなど、伝統文化についての学習を進めることができた。毎月1回、教員全員で校内を点検し、修繕が必要な箇所については早急に対応するよう、関係部署に依頼することができた。 ②月に1回の避難訓練の実施、月に1回の安全に関する指導、随時行っている下校指導、長期休業前の指導等を確実に実施し、危険や災害に対する教育を進めてきた。また、消防署と連携した、煙体験、消火器使用訓練、警察署と連携した不審者対応訓練も実施してきた。 ③こうした取り組みが保護者に周知されていない。 【改善】学校だよりやホームページでの広報を通して、防災指導を行っていることを積極的に発信していく。	A	6	【A評価の方から】 ・避難訓練などを定期的に開催されており、日々の備えを児童とともに考えられていることがうかがえる。引き続きの対応をお願いしたい。 ・安全で安心な教育が行われていると見学して感じた。 ・地元の方に伝統文化を伝えてもらったり、地域の特性をよく生かしていると感じている。保護者の評価が3にとどまっているのは、保護者がよく知らないことにつきるように思う。商店街などがない住宅地エリアということもあり、安心安全に関しては連携の難しさを感じる。もっと地域と連携して避難訓練などができるようにしたい。 ・日頃行う避難訓練では、学校で災害の危険性を学習するとともに、安全に過ごすための指導により子どもたちが正しい知識を身につけることは大事だと考える。 ・毎月避難訓練を実施し、薬物防止授業や情報の取り扱いの授業など、現代の災害や危険から身を守る教育を心掛けている。 ・毎年のクラス編成に合わせて教室や動線の見直しを行い、適宜手入れや工事を行うことにより、児童にとって快適に教育を受けられる空間を生み出している。 ・1年生の学芸会の劇の中でも、水中動物の危険や、行動の危険などを織り込み、楽しみながら危険回避を学べるように工夫されていた。
		②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4		3 : 8 5 % 以 上		B	1	【B評価の方から】 ・コロナ禍を通して授業でもデジタル化が進んだと思うが、学校は児童同士が触れ合う場を提供するものであり、過度に非対人的な授業は好ましくない。校舎の老朽化に対する対策も講じなければならない。
						2 : 7 5 % 以 上		C	0	
						1 : 7 5 % 未 満		D	0	
学 地 学 校 域 校 別 を コ ・ 目 つ ミ 家 標 く ユ 庭 7 リ ニ ・ ま テ 地 域 の 核 連 と 携 し て 協 働 に よ る	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体で子どもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4	12月の学校評価保護者アンケート 「2-7(学校は)教育活動に地域の力を生かしている。」	4 : 9 5 % 以 上	①SSS(地域学校協働本部、スクールサポーター 洗足池)による低学年への読み聞かせ活動、東京科学大学留学生との交流、呑川の会の方々による体験学習、PTA主催の様々なイベント等、地域と学校が連携した様々な活動を実施できた。 ②地域の方を生かしていることを実感している保護者の割合がやや低い。 【改善】地域と連携した教育活動について、学校だよりやホームページで積極的に発信するとともに、新設の「地域人材ヘルプデスク」を中心に、連携していただける地域の方々や地域資源の発掘に努める。 ③登校時に、PTAによる見守り当番の方がおり、安全な登校に協力をしてくださっている。 ④講演会、学習会という形ではないが、PTAと連携して指導を進めている。(例・・・洗小のきまりの見直し) また、情報モラル講習会、学校保健委員会、給食試食会には、保護者にご参加いただき、情報を発信することができた。	A	5	【A評価の方から】 ・学校と地域が連携・協働しながら、様々な活動を実施していたにている。引き続き、このつながりを大切にしながら共に児童を育成していただきたい。 ・地域教育連絡協議会を定期的に開催していただいている。地域の施設で協力できることはやっていきたい。各行事への誘いもありたい。保育園卒園後の児童の様子も分かる。 ・地域の人の協力のもとやっている授業も多く、PTAの登下校の見守り(馬出しと旗持ち)も参加率が高かった。一方で学校・PTA・地域が単体で動くことも多く、校外授業の見守りのPTA協力者が少ないイメージもある。学校とPTAで風通しを良くして協力体制を作ってほしい。 ・学校が住宅街にあることもあり、日常的に登下校時には地域の人の目があって、子どもたちが安心して通学できる環境が続くといいと思う。 ・地域の各組織にも詳しく学校の行事や活動が分かる「洗小だより」を郵送していただき、様子がとてもよく分かり嬉しい。 ・青少年対策委員会主催のスポーツ祭りははじめて、地域の各行事に先生方やPTAの保護者さんたちが協力してくれており、児童も参加してくれていいイメージがある。 ・卒業生の仏師の方を招いて授業をするなど地域・卒業生で活躍されている方との連携をとっているのが児童の学習の励みになると思う。
		②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	4		3 : 8 5 % 以 上		B	2	【B評価の方から】 ・③の自己評価が低いのが気になる。今後どのようなことを実施しよう計画しているか、示すのがよいと思う。 ・地域行事の参加などが行政区割りなどで妨げられることがある。
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	2		2 : 7 5 % 以 上		C	0	
						1 : 7 5 % 未 満		D	0	

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載す